事務事業評価シート　平成 27 年度事後評価・決算

平成 29 年 2 月 22 日時点

所管課	水道課	担当班	工務班

事務事業名	コード	99992	配水管及び施設の整備	予算科目	会計	款	項	目
					水道	−	−	−

施策体系						
	基本施策	19	安全・安心な水の供給	根拠法令	水道法	
	施策の展開	36	上水道の安定供給	戦略事業	176	配水管及び施設の整備
	施策の展開			戦略事業		

事業種別
- ☑ 主な事業
- ☑ 国土強靭化地域計画
- ☑ 新市建設計画
- ☐ 定住自立圏構想
- ☐ 主要事業

(1)事務事業の概要

① 事務事業の期間	② 事務事業の内容　※何をどのようにする事務事業なのか、市民が理解できるよう記述する、行政用語は使わない
☑ 単年度繰返 ☐ 平成 ＿ 年度～ ☑ 開始年度不詳 ☑ 期間限定複数年度 平成 27 年度～ 平成 28 年度まで	配水管の計画的な布設及び老朽化した施設の改修・更新を行うことにより、水道施設の耐震化を進め災害に強い上水道を整備して行く。 1. 配水管の老朽化に伴う管の更新を行い、漏水の防止を図るとともに耐震管に入替えることにより、災害に強い配水管を整備する。 2. 配水池の増設及び耐震化を行い、適正な容量の確保と災害に強い施設を整備する。 3. 各配水場の配水設備等の修繕及び更新を行い、水道水の安定供給を確保する。

③事務事業開始の経緯・事務事業の現状	④事務事業に関する課題・環境の変化	⑤事務事業に対する住民からの意見等
水道事業の開始から35年以上が経過している。水道施設においては老朽化も進んでおり、震災時における配水管等の破損が多数発生した。このため、配水管や配水場設備等の水道施設の耐震化及び更新が必要となってきている。	・例年10件程度の漏水が発生している。 ・全ての配水管の耐震化には多大な費用と年月を要する。 ・配水池の一部が耐震化に見合っていない。 ・配水場設備等の老朽化が今後更に進み、修繕費等の増が懸念される。	・漏水の修繕時に断水作業が伴うため、利用者に多大な迷惑をかけてしまう。

(2)コスト・特定財源の状況

① 事業費の詳細(27年度の決算)		単位:千円
1.工事請負費	31,899	海上配水場増池工事
2.修繕費	25,974	各施設設備の修繕等
3.機械及び装置	3,618	各施設設備の更新等
	0	
	0	

② 特定財源の内訳(27年度の決算)		単位:千円
1.国庫支出金	86	海上配水場増池工事に係る国庫補助金
2.都道府県支出金	0	
3.地方債	15,600	海上配水場増池工事に係る企業債
4.その他	15,600	海上配水場増池工事に係る一般会計繰入金

前年度増減理由	海上配水場増池工事費の増

事業費		単位	24年度(決算)	25年度(決算)	26年度(決算)	27年度(決算)	28年度(予算)
費目内訳	1. 工事請負費	千円	9,723	36,757	6,351	31,899	526,000
	2. 修繕費	千円	12,357	26,830	20,531	25,974	32,087
	3. 機械及び装置	千円	0	24,150	28,080	3,618	28,620
		千円					
		千円					
	事業費計 (A)	千円	22,080	87,737	54,962	61,491	586,707
財源	1. 国庫支出金	千円		11,600		86	3,320
	2. 都道府県支出金	千円					
	3. 地方債	千円				15,600	251,300
	4. その他	千円		20,479		15,600	253,200
	5. 一般財源	千円	22,080	55,658	54,962	30,205	78,887

従事職員数	常時 2 人	最大 6 人 × 12 日 = 延べ 72 人

(3)事務事業の手段・目的と対応する指標

手段

① 主な活動

27年度実績(27年度に行った主な活動)

・海上配水場の増池工事(平成27・28年度継続事業)
・漏水管の修繕及び老朽管の更新
・各配水場の配水設備等の修繕及び更新

③ 活動指標名		単位	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(計画)
ア	配水池耐震化工事	件	0	0	0	1	1
イ	漏水管修繕及び老朽管更新工事	件	8	8	6	14	12

目的

② 対象・意図(対象がどのような状態になるのか)

対象	配水エリアの水道使用者
意図	配水池の適正な容量を確保するとともに、耐震化を図ることにより水の安定供給を確保する
対象	水道使用者
意図	老朽管を耐震管へ布設替えすることにより、漏水等の防止を図り水の安定供給を確保する

④ 成果指標名		単位	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(計画)
ア	配水池耐震化率	%	41.6	41.6	41.6	41.6	47.7
イ	漏水率	%	2.1	3.3	3.3	2.0	2.0

(4)事務事業優先度評価の結果

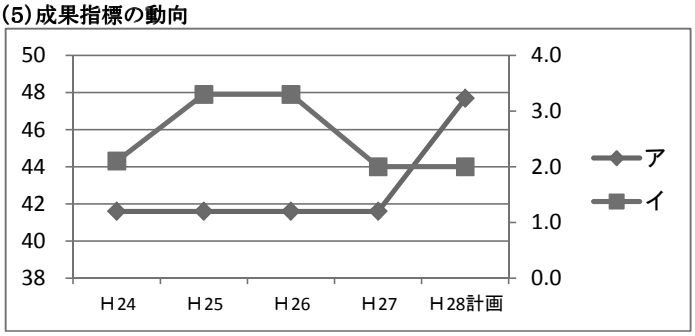
①成果優先度評価結果

施策貢献度 ＼ 成果向上余地	かなりある	ある程度ある	ほとんどない
大きい	①		
普通			
小さい			

②コスト削減優先度評価結果

成果優先度評価結果 ＼ コスト比率	下位 1/3	中位 1/3	上位 1/3
①			(6)
②③			
④⑤⑥			
⑦⑧⑨			

(5)成果指標の動向



(6)事務事業に関する評価

評価内容											
① 進捗状況	☐ 完了	☐ 順調	☑ 概ね順調	☐ 停滞	☐ 実施困難						
【コメント】(停滞・実施困難の場合、その理由)											
② 成果の状況	成果指標ア	成果指標のタイプ	↗	数値増＝成果向上	☑ 向上	☐ 横ばい	☐ 低下	成果動向	比較	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
	成果指標イ		↘	数値減＝成果向上	☐ 向上	☑ 横ばい	☐ 低下			24年度	25年度	26年度	27年度	28計画
【コメント】(低下の場合、その理由)									ア	0.0	0.0	0.0	0.0	6.1
									イ	△ 0.9	1.2	0.0	△ 1.3	0.0

③ 今年度取組事項(今年度新たに取り組む事項について記載)	時期	内容	今後の方向性			
	28年6月	海上配水池耐震補強実施設計業務委託	☐ 拡大 ☑ 現状維持 ☐ 見直し ☐ 縮小 ☐ 廃止・休止 ☐ その他 ( )	平成29年6月	海上配水池耐震補強工事	